

## ハイブリッド手術室が稼働開始しました

当院では、今年3月よりハイブリッド手術室の稼働を開始しました。ハイブリッド手術室とは、手術室に心臓カテーテル室の機能を持たせたものと言えます。手術室は高度に清潔が保てる空調設備と百キロ以上もある无影灯が必要です。心臓カテーテル室はX線透過性で大きく動く片支持の手術台、高画質な心・血管X線撮影装置と画像解析装置、部屋全体の放射線遮蔽のため鉛で包まれた部屋が必要で、これらを融合したのがハイブリッド手術室です。

従来の手術室のX線撮影装置ではX線装置の出力、透視画像等が高度な術式に対応できない状況でしたが、手術室と心臓カテーテル室、それぞれ別の場所に設置されていた機器を組み合わせ、より高画質なX線画像を観察できることにより、これまで心臓カテーテル室で行っていた血管内治療と外科的手術を同時に行うことができます。血管内治療だけでは対応困難な場合に、そのまま外科的処置を追加施行することで、より安全・確実な治療を行うことが可能で、最新の医療技術に対応できます。

当院では既に、胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤の血管修復術のステントグラフト治療、エキシマレーザーによる植込みデバイスのリード抜去等で、従来の手術室のX線撮影装置と比較し、より効率の良い安全な高度医療を提供できるようになりました。

また、経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）の施設認定現地調査に合格し、鹿児島県で初めてTAVIを実施できる施設となりました。

TAVIは開心手術と比較し、手術時間の短縮や出血量の減少、入院期間の短縮など患者の身体への負担も少ない治療が行えます。これまで体力的に開心手術治療が不可能な患者やリスクの高い患者（高齢者、呼吸障害など）は県内では治療が実施できず、県外の病院に紹介していました。当院でTAVIが可能となったことで、今後は鹿児島でも迅速に実施できるようになり、県外に赴く患者・家族の負担も軽減できるものと思います。

現在、心臓血管外科医、循環器内科医、麻酔科医、病理診断医や放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、看護師、事務部職員等でTAVIプロジェクトメンバーを結成し、6月下旬のTAVI実施に向け準備を進めています。

最新のハイブリッド手術室を最大限に活かせるよう、スタッフ一同努力してまいりますので、今後よろしくお願い申し上げます。

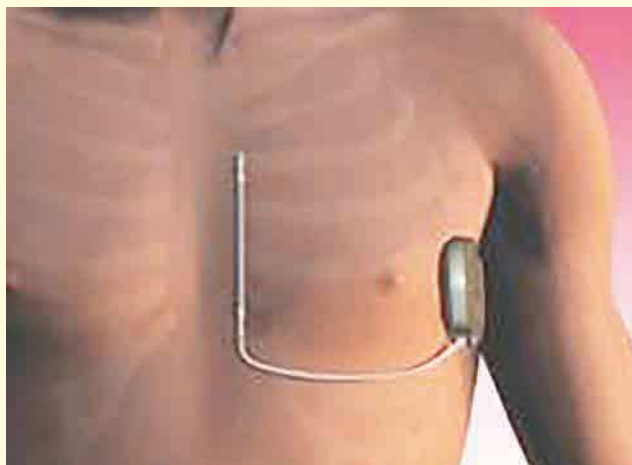
（文責：手術室看護師長 園田 喜子）



# 「皮下植込み型 除細動器(S-ICD)」植込みが 当院で可能になりました

平成29年5月17日、当院で「皮下植込み型除細動器（Subcutaneous Implantable Cardioverter Defibrillator：S-ICD）」と呼ばれる新型機器の植込みを行いましたのでご報告します。

突然死の原因となる不整脈に対する植込み型除細動器（ICD）は、これまで経静脈的に植込みしておりました。S-ICDは、血管内にリードを入れず、前胸部の皮下に除細動リードを植込むシステムです。そのため、経静脈的ICDで問題となっていたデバイス感染症、またリード抜去時のリスクが減少するとともに、リード断線も起こりにくくなることが期待されています。また、デバイス本体は、いまだサイズが大きいです。腋窩（脇の下）に植込まれますので目立ちにくくなり、患者さんの印象は良いとのことです。



利点としては、S-ICDは、経静脈的ICDに比較し、静脈合併症がない、植込み時に心拍動の影響を受けない、デバイス抜去時のリスクが少ない、デバイス感染のリスクが少ない、などです。

欠点としては、心室頻拍（VT）に対して抗頻拍ペーシングができない、徐脈に対するペーシングができない、経静脈的ICDで備わっている機能すべてを持ち合わせておらず、心不全モニタリングができない、などです。

平成28年6月から当院では、「経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）によるリード抜去」が出来るようになり、鹿児島県内の病院からご紹介をいただいております。平成29年5月までで、14名の患者、27本のリード抜去を施行し、全例安全に抜去できております。

今回、S-ICDが出来るようになり、ますます治療の選択肢が増えてきます。これからも中央でできる治療を、鹿児島でもいち早く行うことができるよう精進したいと思いますので、今後ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

（文責：鹿児島医療センター 循環器内科部長 園田 正浩）

# 研修医の声



## 中馬 佳奈子

平成29年度から2年間、鹿児島医療センターで研修させていただくことになりました。研修医1年目の中馬佳奈子と申します。4月から研修が始まり、早くも2ヵ月経とうとしておりますが、指導医の先生方をはじめとする多くの先生方、コメディカルスタッフの方々、先輩・同期の研修医、前田さん等多くの方々に支えられて充実した日々を送っております。その一方で自分の勉強不足を痛感しております。医療センターでの2年間の研修を通して、医師としての知識・技術の向上はもちろん、人間的にも成長していきたいと思っています。ご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 森 拓馬

今年度から2年間、鹿児島医療センターで研修させていただくことになりました研修医1年目の森拓馬と申します。研修がはじまりもう2ヵ月が経とうとしていますが、未だに不慣れなことも多く、周囲の方々にご迷惑をおかけすることもあります。先生方をはじめスタッフの方々から多くのことを学び、そして日々一歩ずつ着実に成長していけるようこれからも努力していきたいと思っています。そして、一日でも早く、皆様のお役に立つことができるようがんばっていきたくて考えております。今後とも、御指導、御鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。



## 小原 満里

4月から2年間、鹿児島医療センターで研修をさせていただいております。研修医1年目の小原満里と申します。研修が始まって2ヶ月が経とうとしていますが、未だ分からないことが多く、指導医の先生方をはじめ、コメディカルの方々、2年目の先輩方、同期に支えられながら、充実した毎日を送らせていただいております。まだまだ勉強不足・経験不足でご迷惑をかけることが多いですが、一日でも早く仕事に慣れて皆様の力になれるよう、頑張りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



## 池田 良太

今年度から鹿児島医療センターで勉強させて頂いております。研修医1年目の池田良太と申します。研修が始まってからの2ヶ月間、分からないこと、不慣れなことも多く大変なご迷惑をお掛けしていることと思いますが指導医の先生方を始めスタッフの方々、2年目の先生方など多くの方に支えて頂きとても充実した研修生活を送らせて頂いております。少しでも早く鹿児島医療センター、ひいては鹿児島の医療を支える一員となれるよう精進して参りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 森田 浩史

4月から鹿児島医療センターで研修させていただいております。生まれ育った鹿児島で働くことができる事をとても嬉しく思っております。まだ不慣れなことも多く、大変御迷惑をおかけする事もありますが、間違った時や困った時に優しく丁寧に教えて下さる指導医の先生方やスタッフの皆さんには本当に感謝致しております。知識や経験でまだ足りない事ばかりですが、色々な事に挑戦し、勉強し、頑張っていきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 矢野 えりな

研修医1年目の矢野えりなと申します。4月から鹿児島医療センターにて研修をスタートし、自分の知らないこと、医師としてあるいは社会人として知っておくべきこと、純粋に興味の湧くこと等を発見しては、周囲の人に教を乞う毎日です。ようやく始まった医師としての人生を、今はとにかく、がむしゃらにひたむきに走り続けるしかないのですが、それはとても刺激的な日々で、確実に自分の将来に繋がっていくのだという実感もあります。研修が始まってひと月が過ぎた今、「その気になりさえすれば、自分の目標や意気込み、自分のペースに合わせて研修を組み立てられる研修医としての時代を、この鹿児島医療センターの恵まれた環境を存分に活かして過ごそう。」と改めて決意しました。その決意を実行するには、ここに書ききれないほど多くの人の支えと助けを必要としていることを決して忘れず、感謝の気持ちと誠意を込めて、これからも日々精進したいと思っています。





### 今田 涼

4月から鹿児島医療センターで研修をさせていただくこととなりました。研修医1年目の今田涼と申します。研修が始まって早くも2か月がたとうというところですが、まだまだ慣れないことが多く、ご迷惑をおかけしていることと思います。それでも指導医の先生方を始め、コメディカルのスタッフの方々など多くの人のご指導のおかげで、少しずつですができることが増えていっているのを実感しております。今後は少しでも早く病院の戦力となれるよう日々努力していこうと思っています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



### 中之蘭 良太

4月から鹿児島医療センターで研修させていただいております。研修医1年目の中之蘭良太と申します。研修が始まり2か月が経とうとしていますが、未だ不慣れな点が多く、手技一つをとっても上手く出来ずにご迷惑をお掛けすることもあります。そんな中、指導医の先生方をはじめスタッフの方々熱心に指導し、支えて下さるお陰で充実した研修生活を送っております。周りの方々のサポートに応えるためにも、1日1日勉強して少しでも早く一人前になれるよう努力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



### 大野 文也

4月から鹿児島医療センターで研修させていただいている1年目の大野文也です。研修が始まり2か月ほど経過しましたが、不慣れなことも多く、指導医をはじめ各医療スタッフの方々にサポートしてもらいながら、日々少しずつ成長しているのを感じる充実した研修生活を送っています。まだまだ出来ないことばかりで各方面にはご迷惑をおかけするとは思いますが、各診療科で学んだことをしっかりと身につけて、1日でも早く鹿児島医療センターの一員として役立てるよう頑張っていきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひいたします。



### 喜山 敏志

今年の4月から鹿児島医療センターで研修させていただいております。研修医1年目の喜山敏志と申します。毎日新しい知識や手技の獲得に追われる中で充実した日々をすごし、早くも研修が始まり2か月がたちました。まだまだ不慣れな事が多く、先生方をはじめスタッフの方々にも多くのご迷惑をおかけしていると思います。それでも熱心にご指導してくださる周りの方々のためにも精進し、患者さんにそれを還元できるような医師になるべく努力していきたいと思ひます。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



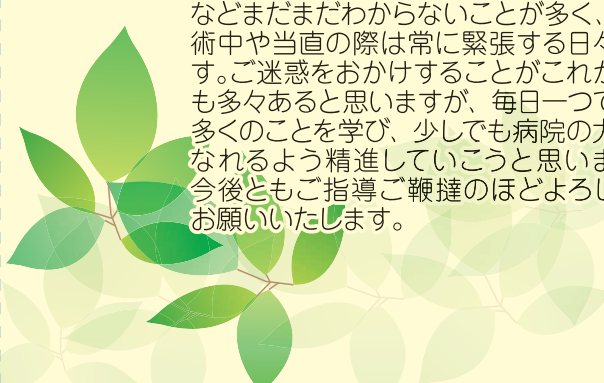
### 三宅 頌己

4月から研修させていただいている研修医1年目の三宅頌己と申します。4月には皮膚腫瘍科、5月からは2か月間麻酔科で研修させていただいております。研修が始まって2か月程経ちましたが、電子カルテの操作や病棟業務、手術の流れや採血をはじめとした様々な手技などまだまだわからないことが多く、手術中や当直の際は常に緊張する日々です。ご迷惑をおかけすることがこれからも多々あると思ひますが、毎日一つでも多くのことを学び、少しでも病院の力になれるよう精進していこうと思ひます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



### 小倉 聡子

4月から鹿児島医療センターで初期研修をさせて頂いております。研修医1年目の小倉聡子と申します。研修がスタートして約2か月が過ぎようとしておりますが、まだまだ不慣れなため先生方やスタッフの皆様には大変なご迷惑をおかけしながらも、毎日多くのことを学ばせて頂いております。未熟な私に親切、丁寧にご指導くださる周りの方にいつも支えて頂き、このような環境で研修ができることに日々感謝しています。分らないことが多く勉強不足を痛感する毎日ですが、1つずつ出来ること・分かることが増える度楽しさも感じています。これからも日々精進し、少しでも早く鹿児島医療センターの一員としてお役に立てるよう努力して参りたいと思ひます。2年間ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。



#### ■お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

## 鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蕨田・谷口・田上・吉永・迫田・中田・吉留・菊永・櫻木・田辺・宮崎

【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・上妻・久保

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

